

# 四国健康ナビ

「放射線治療は手術できないがんに対して行う治療」という印象を持っている人が多いかも知れません。しかし欧米では、初期のがんに対しても積極的に放射線治療が適用されており、がん患者さんの

徳島大学病院 放射線治療科

## 生島仁史科長



歩はめざましく、放射線でも治す能力は格段に向上しました。その最新の放射線治療技術の一つに強度変調放射

### 切らずに治すがん治療へ最新放射線療法へ

近年の放射線治療技術の進

中で放射線治療を受ける人の割合は60%に達しています。一方、我が国ではその割合はまだ25%にとどまっています。

線治療（IMRT）があります。IMRTは、正常組織を避けてがんだけに高い放射線量を集中させることで、治療成績を向上し副作用を軽減できる治療技術です。限局し

きることで、例えば、胸部から腹部に連続したがんがある場合でも同時に治療することが可能です。また、本装置は画像誘導放射線治療（IGRT）システムを搭載してい

た悪性腫瘍のすべてに保険が適用されます。主な対象疾患は脳や耳鼻咽喉科領域のがん、前立腺がんですが、肺がんなど他の臓器への適用も進んでいます。写真は、2020年5月に徳島大学病院で稼働を開始した高精度外部放射線治療装置です。この装置はIMRTに特化して開発されました。この装置の特長は、広範囲にがんが及ぶ場合でも治療で



1回の治療を毎日繰り返して行います。1回の治療は数分で終了し痛みはありません。がん治療の歴史は、体の負担をより小さくする治療法開発の歴史ともいえます。社会の高齢化が進む中で、高齢者がかかりやすい病気であるがんに対して、体の負担が少ない放射線治療の果たす役割は、今後さらに大きくなっていくと考えられます。

徳島大学病院の高精度外部放射線治療装置 | 徳島大学提供